

TOPIX

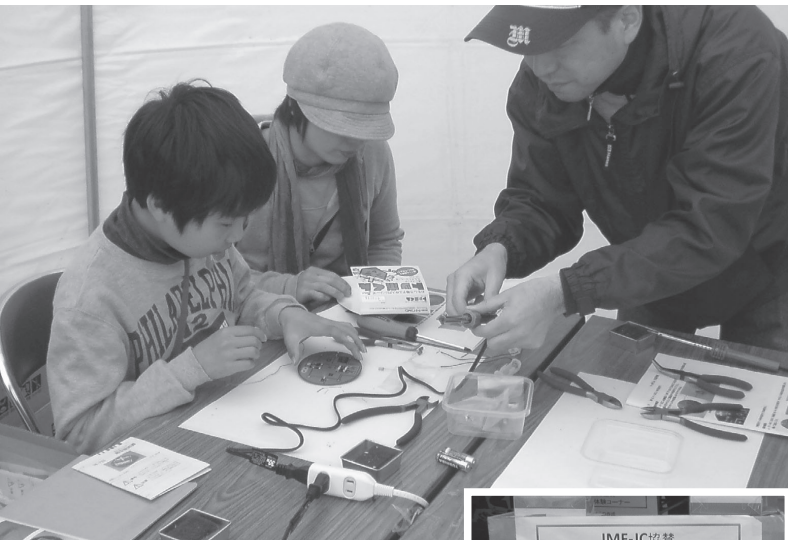
親子ものづくり体験教室

連合香川ワークフェスティバルで

ものづくり体験コーナーをオープン

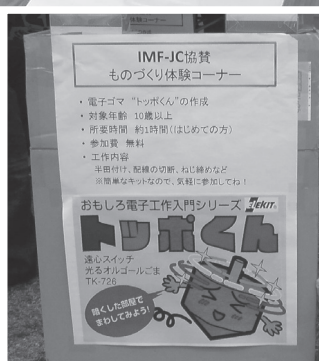
電子ゴマ「トツポくん」を作成

IMF・JCC 香川が協賛



上:最初のお客さん(親子)がスタッフの親切な説明を受けて、コマづくりにチャレンジ!

右:ブースの外にはられた「IMF-JC協賛 ものづくり体験コーナー」の手づくりポスター



連合結成20周年を受けて、連合香

川では2009年4月25日(日)に香川県の高松空港公園において、通常の中中央デーの代わりに、働く者の祭典「ワークフェスティバル」を開催しました。連合香川としては、侍戦隊シンケンジャーショーを始め、ゲームコーナーやフリーマーケットなど家族のふれあいを中心とした行事を準備しました。また、各産別やNPO団体でもそれぞれにブースを構え、この「働く者の祭典」に花を添えておりました。

そのような中で、香川県内JCC協産別の協力を得て、「IMF・JCC協



JAM香川・タダノ労働組合
委員長 越智 雄悟

賛ものづくり体験コーナー」のブースを出展することができました。当日は、あいにくの強風の中で4月とは思えない寒空となりましたが、ワークフェスティバル開催中の5時間の間に、30名を超えるお子さんにもものづくり体験に参加して頂きました。

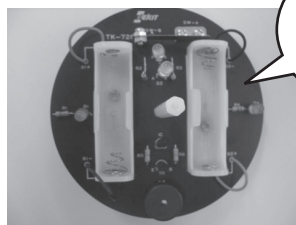
一斉に説明をしてスタートする教室形式とは違い、興味のあるお子さんがバラバラに来ることや、また、忙しい時期であるためにスタッフが十分に打合せができないことなどから、今回は普段あまり工作をしたことのないスタッフやご両親でも見てわかる写真入りのテキストを作成し

TOPIX 親子ものづくり体験教室



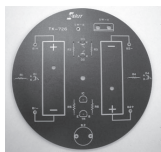
参加者の約15%は女の子。一つ一つ丁寧に作業する姿に指導するスタッフも熱が入る。

トッポくんのつくりかた

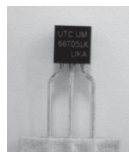


電池を入れれば完成!

基盤にICやトランジスタ、発光ダイオードなどを半田付けしてつくっていきます。完成したら電池を入れて回してみます。発行ダイオードが(赤が2個、黄色が1個、緑が1個)光りながら楽しい音楽を奏でます。



基盤



IC



発光ダイオード



「ものづくり体験コーナー」ブースの全体像。寒風にめげずにスタッフ全員、力合わせて頑張りました。

て、マンツーマン形式でお子さんのアドバイスにあたることとしました。今回の体験コーナーで使用した電子ゴマは、EK JAPANで販売しているキットを使用し、部品点数が32点、半田ごて、ニッパー、ドライバ、ラジオペンチなどを使い作成するものです。その中でも、半田ごてについては、ほとんどのお子さんが使ったことがなく、悪戦苦闘しながら、親御さんのアドバイスやスタッフのアドバイスを受けて、一つ一つの部品を半田付けしていました。

その結果として、難しい半田付けを全て自分でやりきった子供達は、ものづくりの達成感とものづくりの楽しさを十分に体感してもらえたと思います。また、完成品の調整方法については、テキストにも載せていませんでしたが、構造を把握して、遠心スイッチの調整をしたり、発光ダイオードの曲がり直したりと頭を悩ませる子供達の姿を見て、原因を追究し自分の力で解決することの楽しさと云うもう一つのものづくりの醍醐味についても、多くのお子さ

んに感じてもらったと思います。その上、早い子供さんでも30分、ほとんどの子供が約1時間程で完成させましたが、全く集中力を欠くことなく作ることに没頭しているお子さんの姿を見て親御さんの目線も変わっていったことが、本当にうれしく思いました。

今回、JC香川として初めてのものづくり体験コーナーでしたが、予想より多くの子供達に来てもらいます。これからも機会を見つけて、

香川の地で、将来のものづくり産業を担う子供達がものづくりにふれあう機会を増やしていければと思います。

最後になりますが、このものづくり教室開催にあたり、協力していただいた県内JC3産別のスタッフの皆様、本当にありがとうございました。また、単組でものづくり教室を開催され、そのノウハウを快く教えていただきましたパナソニック四国エレクトロニクス労組松山支部の方々にも本当に感謝致します。